施策構成事務事業評価一覧表

施策名	1101	交通安全の推進

【事業類型】

1　職員人件費のみの事業
2　国の法令に基づいて実施する事務（生活保護、賦課徴収事務、年金事務、戸籍・住基台帳事務、選挙事務、広域組合の負担金などの市の裁量が及ばない事務）
3　負担金のみの事業（イベント等の実行委員会への負担金を除く）
4　組織や職員を管理するための内部事務管理事務（財務事務、人事管理事務、企画事務、議会事務など）
5　施設の維持管理費のみの事業（高熱水費や法定の保守点検委託料など。施設の修繕料）
6　施設を維持管理するための運営業務（施設やそれに付随する車両等の運転業務委託、公園などの管理業務、清掃委託）
7　課内事務を行う上で必要となる事務的経費のみで構成される事業（条例委員の報酬、旅費、需要費、役務費のみで構成）
8　団体等への負担金及び補助金が予算の大半を占めるもの・・・補助金は、補助金要綱及び補助金等のあり方に関するガイドラインにおいて精査されている。
9　ハード事業で、中長期の年度計画（事業費含む）を策定し認められた事業
10　ハード事業1,000万円未満、ソフト事業100万未満（事業類型1～9以外）
11　ハード事業1,000万円以上、ソフト事業100万円以上（事業類型1～9以外）

【事業概要シート作成有無】

新規・拡充・その他の見直し

NO → 事業概要シート作成【不要】

YES → 事業概要シート作成【必要】

妥当性（市の関与）
　ａ…市が実施することが妥当である
　ｂ…見直す余地がある
　ｃ…市が実施する緊急性が認められない
有効性（施策貢献度）
　ａ…施策への貢献度が高い
　ｂ…施策への貢献度が著しく高いとはいえない
　ｃ…成果の向上が見込まれない
効率性（コスト）
　ａ…コストを見直す余地がない
　ｂ…検討する余地がある
総合評価
　Ａ…計画通りに事業を進めることが適当
　Ｂ…事業の進め方の改善検討
　Ｃ…事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討
　Ｄ…事業の抜本的見直し、休・廃止の検討

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

NO	事業名	担当課 課長 担当者	事業内容	事業期間		根拠法令 要綱等	事業類型 シート	妥当性	有効性	効率性	総合評価	事業費（千円）			人件費（千円）		主な指標	単位	H29		H30	H31	事業の方向性
				開始	終了							H29 決算	H30 予算	H31 見込	H29 決算	H30 予算			目標	実績	目標	目標	
1	交通安全指導事業	安全対策課 針山　健 米田　雄亮	大村市交通指導員及び交通安全推進団体の活動支援、研修を行い、交通事故防止を図る。	昭和43年度		・大村市交通安全の保持に関する条例 ・交通安全対策基本法	8 無	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	10,921	11,025	11,013	3,186	2,910	交通安全指導員が指導した人数	人	22,600	23,143	23,000	23,000	現状維持
2	安全運転講習事業	安全対策課 針山　健 平野　幸恵	警察、交通安全推進団体と連携し、参加・実践型の交通安全運転講習会を開催する。				10 無	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	248	234	228	2,563	2,546	高齢者の講習会への参加人数	人	30	33	30	30	現状維持
3	カーブミラー設置事業	安全対策課 針山　健 米田　雄亮	見通しの悪い交差点等における交通事故防止のため、カーブミラーを設置する。				10 無	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	1,400	1,390	1,633	1,462	1,455	事故発生件数	件	1,900	2,089	1,900	1,900	現状維持
4	駐輪場管理事業	安全対策課 針山　健 米田　雄亮	大村市駐輪場（大村駅前）において、場内の管理及び安全な利用についての指導をシルバー人材センターに委託するとともに、定期的に、サイクルラックの補修及び点検を行う。	平成8年度			6 無			a 余地なし	A 事業推進	1,882	1,527	1,621	1,091	1,091	駐輪場利用台数	台	600	605	600	600	現状維持
5	自転車安全利用促進事業	安全対策課 針山　健 平野　幸恵	自転車の安全利用促進に関する広報・啓発活動、また、放置自転車に対する移動勧告、撤去を行う。	平成26年度		大村市自転車の安全利用及び自転車等の放置防止に関する条例	11 有	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	897	1,060	1,029	747	727	自転車事故発生件数	件	40	30	40	40	現状維持
6	中里原町線整備事業	道路課 浦山 弘幸 田中 祐二	道路の狭小区間の解消のため道路整備を行う。（延長L=1,320m、道路幅員W=7.0m） H29年度　九州防衛局ほか関係機関協議 H30年度　測量・調査・設計　1式 H31年度以降　用地・補償、道路改良工事1式	平成27年度	平成34年度	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律（第8条）	9 無	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	337	16,100	126,025	3,927	7,388	道路の改良率	%				20	現状維持
7	交通安全施設整備事業	道路課 浦山　弘幸 中嶋　俊介	市道の区画線、防護柵、道路反射鏡及び保安灯の維持、修繕、新設を行う。また通学路である路側帯の拡幅や、カラー舗装も行う。			交通安全対策特別交付金等に関する政令	11 有	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	110,024	83,492	114,728	7,308	7,885	区画線延長	m	32,000	33,080	20,000	20,000	現状維持
8	大村市駐輪場整備事業	安全対策課 針山　健 平野　幸恵	大村市駐輪場の再整備を行う。	平成29年度	平成30年度		無					42,192	66,864	0	1,855	1,818	駐輪場利用台数	台	600	605	600		終了